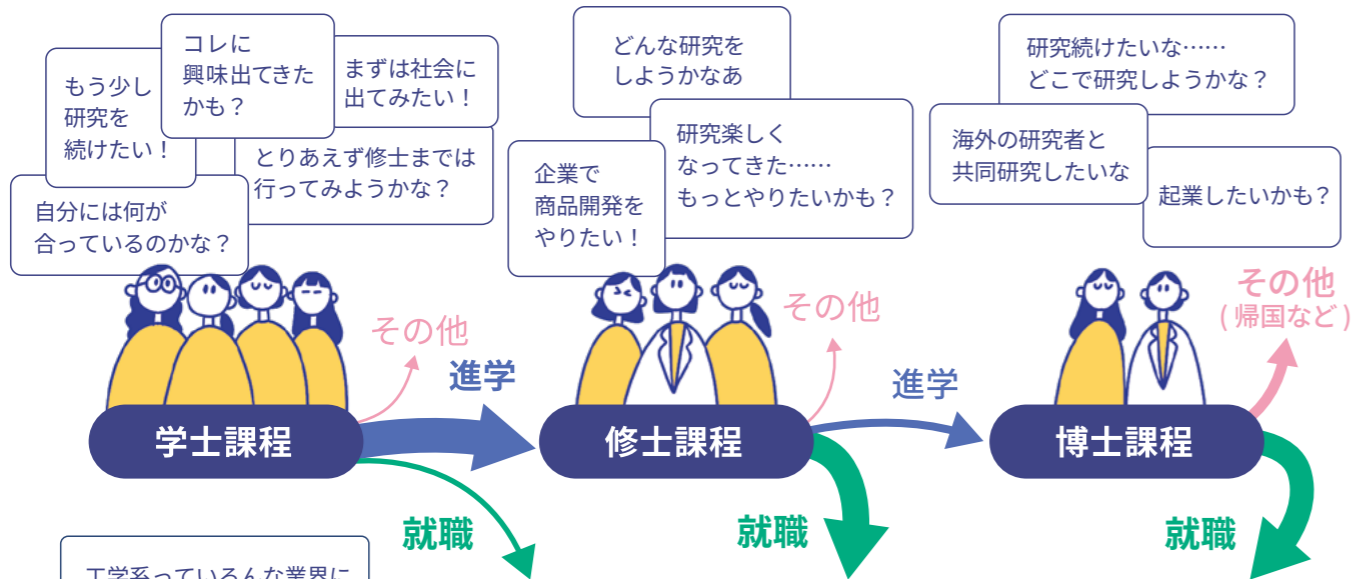


工学部

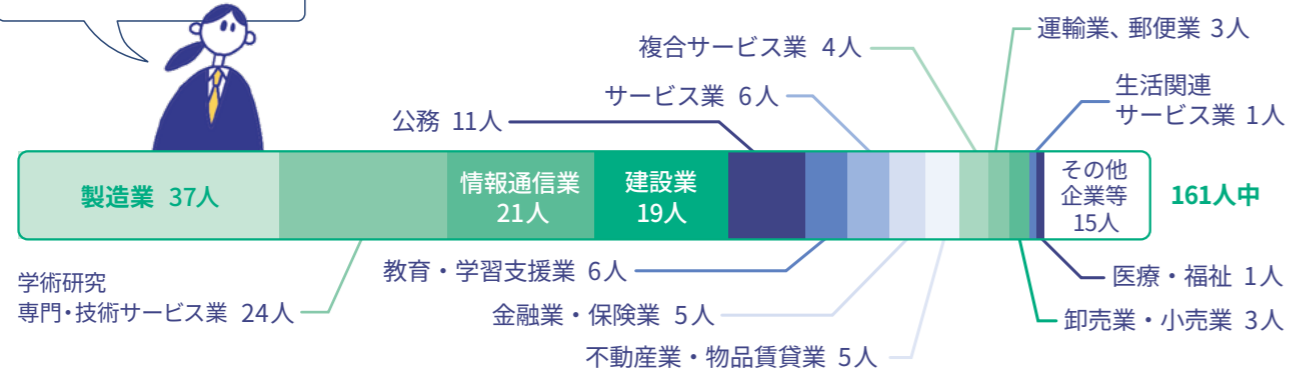
× キャリア

大学生になると、それまで見えていた世界が小さく感じるくらい、一気に世界が広がります。そして、知らなかった世界や職業にたくさん出会います。もし今あなたが中高生で、自分が好きなものややりたいものがわからなくても、全く問題ありません。工学にはたくさん社会との接点があり、その分キャリアも多様です。ここでは具体的に、工学部の学生たちがどんなことを考えて自分に合った選択をしていくのかのイメージをご紹介します。

工学部生はどのようにキャリアを選択していくの？



女性卒業生の就職先※



※出典：『東京大学の概要 資料編 2022』工学部卒業生・工学系研究科修士生・博士課程単位取得満期退学者の就職先データです。

次のページからは卒業生のリアルなキャリアをご紹介します！

東大工学部・工学系研究科 YouTube チャンネルでは、『卒業生のリアル』という新企画がスタートしました。工学部・工学系研究科を卒業した先輩たちが、中高生の時や学部生、院生の時、どんなことで悩み、どんなことを感じていたのか。他の企画では追えなかった東大生のよりリアルな姿をとらえた新しい試みです。

次のページからは、この企画でインタビューした5名の卒業生のキャリアの一部をご紹介します。残念ながらこの冊子には載せきれなかったエピソードもたくさんありますので、ぜひ各ページ下部のQRコードからチェックしてみてください！

『卒業生のリアル』動画のプレイリストはこちらから！



「地球温暖化のシステムに興味があって、システム創成学科 環境・エネルギーシステムコースへ。現在は環境省で働いています」



環境省でのお仕事

工学部を卒業した後、環境省に入って国際連携課という部署で気候変動の国際交渉関連の仕事をしていました。その後は地球温暖化対策課という部署で、地球温暖化対策の補助事業や委託事業の制度設計に関わっていました。今は原子力規制庁に出向して、放射線のモニタリングに関するお仕事をしています。

「理数系が大好きでないと通用しない？」

東大に進学した当初、理数系出身の人はメーカーに進んで研究するのかな、くらいの漠然としたイメージしか持っていませんでした。なので、「素数にときめく！」とか「トロイダル磁場コイルが大好き！」みたいな本当に理数系が大好きな人でないと通用しないのかなって(笑)。いったい私はこれから先どう生きていくのかという将来に対する不安は当時ありましたね。

理系からの進路は研究職以外にもある！

入学してすぐにOB・OGの方々のお話を聞くイベントがありました。そこに工学部システム創成学科を卒業して国家公務員になった方がいらっしゃったのですが、その方のお話を聞いて、理系でも国家公務員というキャリアがあると知りました。その中で、例えば地球温暖化にアプローチできる環境省のような進路があるんだな、という気づきがありました。理系は研究職一本ではなくて、世の中にいろいろと活躍の場があると今は思っています。

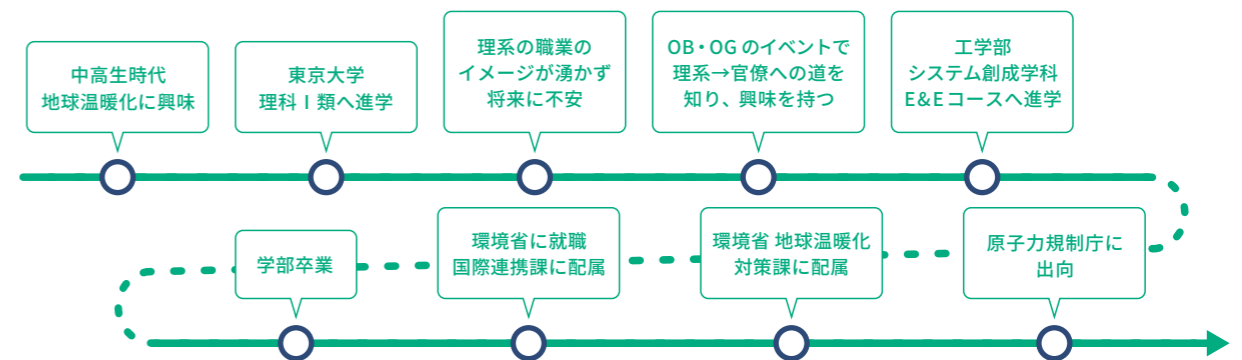
環境問題への関心からシステム創成学科へ進学

工学部のシステム創成学科のE&E(環境エネルギーシステム)コースに進学しました。高校時代から地球温暖化などの環境問題に関心があったので、名前からして環境とエネルギーなんて素晴らしいじゃん!というのと、入学の時に会った国家公務員の先輩もその学科でたし、進振りのときに卒業生の進路を見ると、国家公務員とかコンサルタントとか、必ずしも研究一本ではない就職先もあったので。

中高生へのメッセージ

「人生、なんとかなります」

人生なんとかなります、ということを伝えたいですね。私も最初理系に進むときに、トップレベルの人でないと難しいのではないかと思っていました。ですが案外、要素所で軌道修正も効きますし、理系のバックグラウンドが必要になりつつも理系一筋ではない分野もたくさんあります。その中で流れに流されていけば、いつかどこかへたどり着きます。ただ、「こうりたい」という憧れのようなものは一つ持っておくと思います。私の場合はずっと気候変動というトピックが頭の片隅に引っ掛かり続けていて、実際のところは行き当たりばったりで生きていたようにも感じますが、気が付くと気候変動のど真ん中のような就職先になりました。そういった具体的な問題でなくても、いずれこういう人間になりたい、という憧れを持っておくと思います。



川村 華

東京大学工学部システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース卒業後、環境省に就職。



川村さんの『卒業生のリアル』動画はこちらから視聴いただけます

「情報技術を身につけるために電子情報工学科へ。
今はビジネス職としてIT系企業の
AI事業部で働いています」



ITスキルを身に付けるために電子情報工学科へ

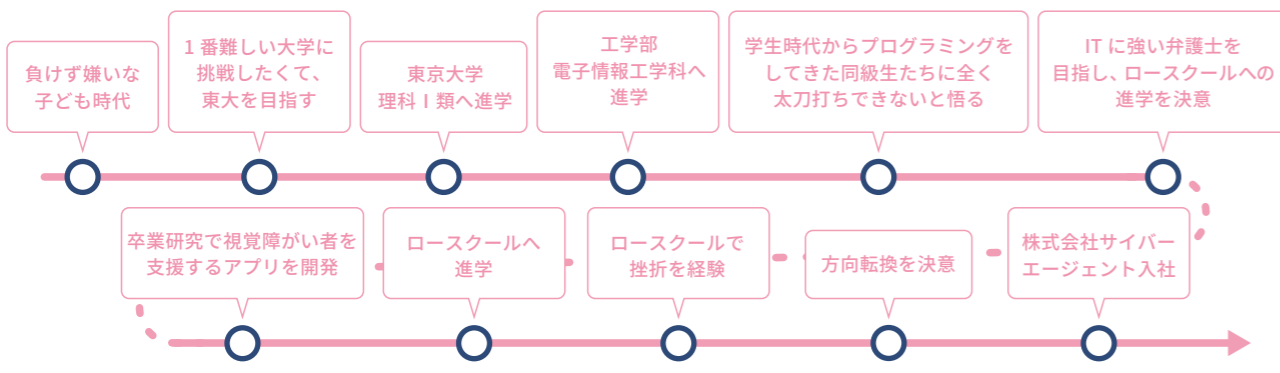
入学当初は東大に入ることがゴールだったので、将来は何かいい仕事をするんだろうな、何か社会にインパクトを与えられることをしたいという漠然としたイメージを持っていました。進振りの時期が近づき学部の説明会に行く中で、電子情報工学科の人たちがとても楽しそうに話す姿が印象に残っていたので、将来性を逆算して市場に活かせるスキルが身につくさうだと思い、工学部の電子情報工学科に進学しました。

情報系の知識だけでは戦えないと思い、
ロースクールへの進学を決意

工学部に入ると、すでに中学生のときからプログラミングをずっとやってきた人たちと一緒にプログラミングを勉強することになり、自分がどんなに頑張っても全く太刀打ちできないことがあるんだということを実感しました。そこで、一つの道で極めることが無理なら、もう一つ何か軸を持って掛け合わせて戦えばいいのではないかと考えました。その頃から情報の軸に法律の軸を掛け合わせた理系出身の弁護士になりたいと思い、ロースクール（東京大学法科大学院）への進学を考えるようになりましたね。

ロースクールでの挫折

法科大学院の1年目は自分の適性に悩むことはなく勉強していたのですが、2年目に自分の成長が止まってしまったのをとても感じました。それまでの勉強はどこを対策すべきか見当がついていたのですが、司法試験の勉強は本当に歯が立たなくて。それでも最後までやりきろうと思い必死に勉強しましたが、司法試験の結果は散々で「やっぱり全然向いてなかったな」という答え合わせをしたような気持ちでした。そこからは気持ちを切り替えて就活することにしました。



嶋田紅緒

東京大学工学部電子情報工学科卒業後、
東京大学法科大学院へ。
株式会社サイバーエージェントに就職。



嶋田さんの『卒業生のリアル』動画はこちらからご視聴いただけます

「生命現象への興味から
工学部化学生命工学科へ進学。
今は子育てをしながら、細胞の研究をしています」



東大で細胞の仕組みについて研究

私達の体を作っている細胞の中には、その細胞の機能を維持するための細胞内小器官というのがあります。細胞内小器官がどのように働いてその細胞の機能を維持しているのか、そして私達の体の機能を維持しているのかということに興味があって、そういったことについて研究を行っています。

小さい頃から生命の仕組みに関心があった

小学校に上がるくらいの頃に「将来お医者さんになりたい」と言っていた時期がありました。その理由として、「お医者さんになって心臓の音を聞いてみたいから」と答えていたんですね。何で自分たちの体がこうやって動いているのかな、ということに小さい頃から漠然と興味を持っていたような気がします。それで中学、高校、大学と勉強を重ねるうちに、分子生物学という分野で研究することで、自分の興味あることを研究できるんだということが分かって、今はそこに身を置いています。

工学部で最先端のバイオテクノロジーで
生命現象を解き明かす

分子生物学ということに限れば、いろんな他の学部・学科でもそういった分野の研究をしている研究室はたくさんあるので、そういった分野の研究をしている研究室はたくさんあるので、進学選択の時には選択肢がたくさんありました。ただその中で工学部の化学生命工学科は、新しいバイオテクノロジーを開発する分野とそれを当てはめて生命現象を解き明かす分野とが融合している学科であると知って、最先端の研究を行っているのだなと感じたので選びました。

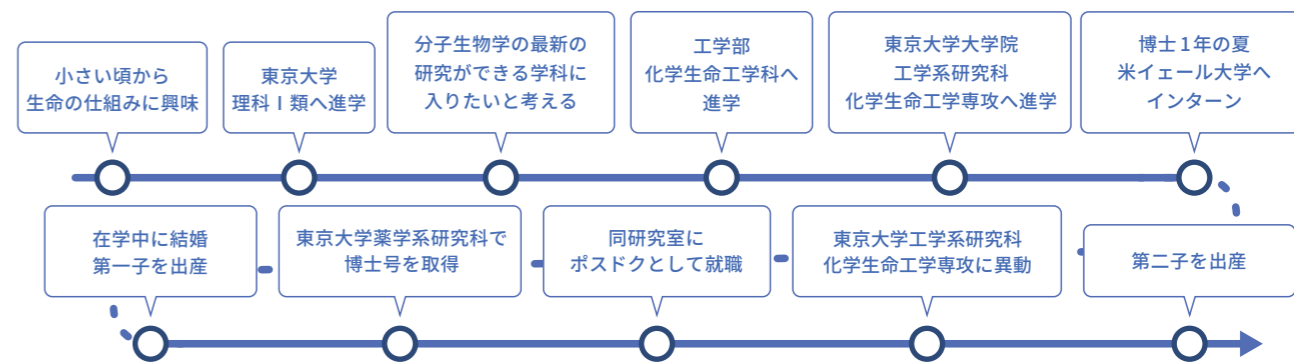
キャリアと家庭のバランスに悩んだ末、
博士課程在籍中に結婚・出産

研究室の先生や仲間たちが世界を驚かせるような研究をしている、そういう環境に身を置きながらする研究は本当に楽しくて未来が一気に広がって見えました。ただ一方で、自分もいつか家庭を持って子どもを育てたいという気持ちもありました。生物の勉強をしているので、リスクを少なくするためにも出産は早い方がいいという考えは持っていたのですが、自分のキャリアと出産・子育てのバランスにとっても悩みました。当時パートナーとは本当によく話し合いを重ねて、結果的にまずは家族をつくってそのあとでお互いのキャリアを頑張ってみようということになり、博士課程在籍中に結婚・出産を決意しました。

中高生へのメッセージ

「悲観するほど社会は悪くないよ！」

自分の人生のプライベートのライフプランニングと仕事のプランニングがぶつかってしまって、うまくいかなるのではという不安に、大学生の時に初めてかられたんですね。当時はとても悲観的になっていたと思います。ですが、これまで私の世代やもっと上の世代の人たちがいろいろ頑張って生きやすい社会に変えようと努力してきてくださったので、実際には何とかかなりました。ですので、そんなに悲観するほど悪くないよ、なんとかなるよ、ということを伝えたいですね。



青山幸恵子

東京大学工学部化学生命工学科卒業。同大学院修士課程修了後、研究室の薬学部移転に伴い薬学系研究科で博士号取得。その後、工学系研究科化学生命工学専攻にて、学術振興会特別研究員として研究を遂行中。



青山さんの『卒業生のリアル』動画はこちらからご視聴いただけます

「発展途上国への興味から
社会基盤学科 国際プロジェクトコースへ。
今は世界の台所探検家をしています」



「世界の台所探検家」という生き方

世界の台所探検家をしています。世界の家庭を訪れて一緒に料理させてもらい、料理から世界を伝える仕事です。家庭の料理には色々なものが表れていると思うんです。その国の歴史や地理、時には政治や環境問題なども映されています。そういった興味を持ちにくいことも、食を通してだったら興味を持ちやすいんじゃないかなと思って、食を通して世界を知る授業やワークショップを行ったり、執筆をしたりしています。

世界への興味から社会基盤学科へ進学

高校時代、地理の先生が面白くて地理の授業が大好きでした。地図帳を眺めては「ここはどんなところなんだろう」と妄想していました。東大に入ってから国際交流のプログラムに参加したり、大学から提供される国際会議のような場に出て行く中で、海外への興味が膨らんでいきました。行政面からスーツを着て関わる人ではなく、自分自身が技術を持って何かできる人になって関わりたいと思って、そのための技術と国際プロジェクトという論理とを両方学ぶことができる工学部の社会基盤学科を選びました。

社会基盤学科で海外のプロジェクトに関わる

研究室で結構海外に行かせてくれました。国際プロジェクトコースということもあって、タイの水道局とダムオペレーションについての協議をする、というような場に出させてもらったりしていました。当時はよく分かっていなかったですが、今思うと大規模なプロジェクトに関わらせてもらってそういった現場を見せてもらいましたね。

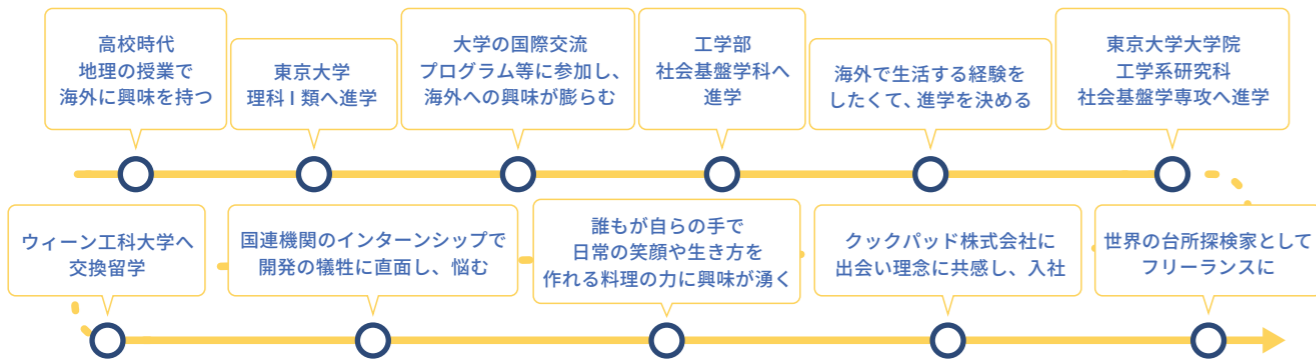
ひとりで始めた世界の台所探検が
やがて周囲から評価されるように

学生時代に色々な国に行く中で人々のリアルな生活が見える台所に惹かれていき、就職後も隙あらば海外へ行くチャンスを狙っていました。台所探検家として生きていくと最初から意識したわけではなく、会社での出張がダメなら自分で行く、くらいの気持ちでした。けれどもそこで出会うものがとても面白くて、みんなにも知ってほしいと思ってブログに書き始め、そこから数年で自分の活動が育ってきました。元々は自分がやりたいからやっていると書いていたけれど、こんなに価値を感じてくれる人がいるのならもっと時間をかけてやってみたい、と思って会社を辞めて独立しました。

中高生へのメッセージ

「自分の『好き』に一步踏み込んでみる」

もしあなたが将来何をしたいか迷っているとしたら、職業として何になりたいのかというよりも、何をやりたいのかということを一歩深めてみてほしいと思います。自分が少しでも好きって思うことがあるのなら、そこに勇気を持ってもう一歩深く入ってみる。好きなことに理由は要らないし、これが一体将来何になるんだろうと考えなくても、もしかしたら周りの人が価値を作ってくれるかもしれない。自分がもし飽きたら違うことをやればいいし、失うものは何もないので、好きと思うことに勇気を持ってちょっと一歩深く入ってほしいなと思います。



岡根谷 実里

東京大学工学部社会基盤学科卒業後、工学系研究科社会基盤学専攻へ。クックパッド株式会社に入社。その後世界の台所探検家として独立。



岡根谷さんの『卒業生のリアル』動画はこちらから視聴いただけます

「環境問題への関心から大学院工学系研究科
社会基盤学専攻へ。今は大学の教授として
水環境の研究をしています」



芝浦工業大学で水環境の
数値シミュレーションを研究

水に関する研究をしていて、地球温暖化で洪水や渇水がどう変わるかということ、数値シミュレーションで研究しています。例えば、海面上昇というのは気候変動による現象ですが、海が温かくなって膨張する他にも、山に溜まっている雪や氷がどんどん解けて海に入っていくことで海面が上がっていきます。そこで、氷河モデルを作って世界全体の氷河を計算すると、下流の水資源の変化や海面が何センチ上がるかということ計算できるので、そういった新しいことがわかることに面白さを感じます。

環境問題への興味から芝浦工業大学の
土木工学科へ進学

元々高校生のときにレイチェル・カーソンの『沈黙の春』を読むなどして、環境には興味を持っていました。土木工学の大きな工事がかなり環境に影響を与えるので、環境を破壊する側に立って環境を考えることが重要かなと思い、その中でも国土計画といった大きな仕事に関わりたいと思って、大学を受けるときに土木工学を選びました。

大学院で東大の工学系研究科へ進学

国土計画をやりたいだったので、国家公務員が大きなゼネコンを目指していました。ただ、就職活動をする前に、水に関して大学院に行ってみたらどうかと恩師の先生に勧められまして、東京大学の先生を紹介していただいたので、まずはそこに行ってみようと思いました。そこでの研究が楽しすぎて、気が付いたら博士課程まで進んでしまいました。

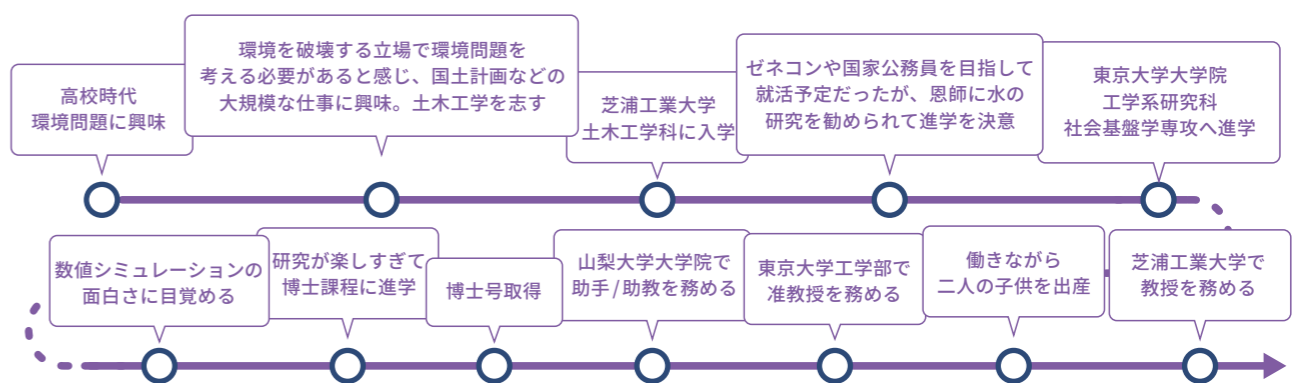
研究職は女性におすすめです

研究者は専門職なので、例えば結婚したり妊娠出産をして少しブランクがあったとしても、割と復帰しやすい仕事かなと思います。会議が夜遅くにあったり土日に働いたりというのはありますが、それでも自分のペースで自分の好きなことをやる余地が他の仕事よりも大きいと思います。私は東大病院で2人子どもを産んだのですが、定期検診は空いた時間に研究室から向かっていました。子供を東大内の保育園に預けていた時には、研究でちょっと疲れたなと思ったら我が子に会いに行くと授乳してから研究室に戻ってました。あの時間はとても幸せでしたね。

中高生へのメッセージ

「自分が行きたいところにチャレンジしよう」

研究職を考えている人はどこの大学に行くかがとても大事だと思います。自分がここだと思ったところには、ぜひ研究室の雰囲気などの話をしっかり聞きに行くといいです。なので、名門に行けとは言いませんが、自分がやりたいことが一番できるところには、ぜひチャレンジしてもらいたいです。今は、例えば東大生は学部生も海外によく行ってますし、海外からもたくさん留学生が来ていて、一つの大学に残ることにこだわらずにみなさんチャレンジしています。自分の大学内で上に行くことも大事かもしれないですが、行きたいところ、面白そうな分野があったらぜひチャレンジしてみただければなと思っています。



平林 由希子

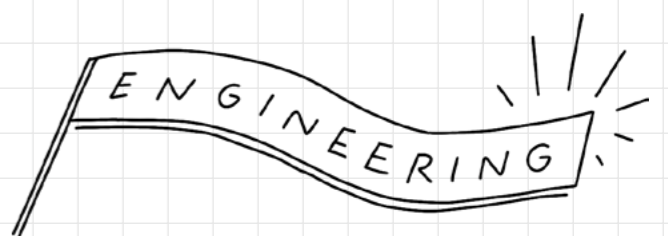
芝浦工業大学を卒業後、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻へ。現在は芝浦工業大学大学院 理工学研究科社会基盤学専攻 / 工学部土木工学科にて教授として地球水循環に関する研究に取り組んでいる。



平林さんの『卒業生のリアル』動画はこちらから視聴いただけます

在学生の REALTALK

リアルトーク



どうして東大を目指そうと思ったの？

ゆうい 私は小中高一貫の小学校に通ってたんですけど、小3〜小4くらいの時に高校生の先輩たちが大学受験しているのを見て、小学生なりに「高校生になったら大学に行くために勉強をたくさんしなきゃいけないんだ」みたいな感覚があって。みんなであつちや努力する期間があるんだったら、どうせなら日本で一番賢い大学に行こうって思ってたかも。

えりこ 小学生のとき！？

りさ 早くない？

はるか 東大に行きたいとまでは思ってたんですけど、私も同じ小学4年生くらいの時に愛知万博の国連ブースに行って、人の役に立つことをやりたいなあと漠然と思いはじめていました。志望校として東大を意識し始めたのは高校のオープンキャンパスの時くらいです。オープンキャンパスの時に受けた講義の内容に一目惚れして、そのまま東大に来ました。

まゆこ 私は小さい時に科学技術館とかに行くことが多くて、そこで理科が好きかもと思って。高校の時に「行けるなら東大に行きたいな」と思い始めました。

りさ 私は高2の時くらいに「私、勉強できるかも！」って思って、先生にも「りさびよんなら東大行けるよ！」って言われたので、頑張っって東大に行こうと思いました。

えりこ 私は小さい頃からロボット展や科学実験教室に通ってたりしていたので、理系はずっと好きでした。高2の時に志望校を決めなきゃいけないくて、塾の先生に「どこ行くの？」って聞かれたんですけど、中3の時の学校の自由研究で接着剤について調べてたんですよ。それで、先生に「私、接着剤に興味あります」って言ったら、「材料系なら東大じゃない？」って言われて、それで東大にしました。

りさ 今話を聞いていて思い出したけど、東大

は入学する時に学科を決めなくてよかったのが大きかったかも。やりたいことが決まっていなかったから。

受験勉強で気をつけていたことはある？

はるか できる科目とできない科目の差がすごい極端だったので、できる科目で得点を取って、できない科目は割り切って勉強していました。

えりこ 英語がめちゃくちゃ苦手だったんですけど、嫌にならないように英語の絵本を読んだり音楽を聞いたりしていました。

りさ 夏休みは毎日のスケジュールを作って勉強していました。午前中に数学の問題集を解くと一日のリズムがうまく作れたので、それを中心にいろんな科目をまんべんなく勉強できるようにスケジュール組んだり。

まゆこ 絶対に6時間半〜7時間は寝るようにしていました。あと、物理があまり得意ではなかったので、基礎を大事にして勉強するようにしたら、結構得意になりました。

ゆうい 隙間時間をすごい埋めてたかも。例えば、勉強の休憩時間に好きな科目をやってました。地理がめちゃくちゃ好きだったんですけど、理系で地理ばかり勉強するわけにはいかないから、休憩時間を地理の勉強で埋めるとか。あと、時間を無駄にしないように、角を曲がらないでできるだけ斜めに歩くとか。

一同 (爆笑)



受験勉強でうまくいかなかったことはある？

りさ 夏休みに数学をすごい頑張ったのに、夏休み明けのテストで思ったより点数が伸びなくて落ち込みました。でも後からちゃんと点数が伸びたから、すくには伸びないものなのかな〜って。

まゆこ センター試験本番の国語で5〜6割しか取れなくて、東大を受けるかどうか迷いました。

えりこ わかるわかる。

まゆこ でもここまで来たからには最後までやるって思って頑張りました。

えりこ 私もセンター試験の点数が悪くて、自己採点の後に落ち込んでお風呂に2時間入ってました。でも「センター試験の点数って最終的に圧縮されるじゃん！二次試験で数学1問取ればそれでパーだ！」って思って切り替えました。

はるか 東大に落ちた前の年よりも悪い点数をセンター試験で取っちゃって、でも「東大に行きたい」という気持ちの方が強かったんで、最終的に東大に出席して合格しました。あと、塾の講習とかのスケジュールに従って勉強するのが私のスタイルに合っていなかったなって。宅浪して自分の好きなスケジュール配分で勉強するようになってからうまく行くようになりました。



ゆうい 私は国語の勉強を高校までちゃんとやったことがなくて。本を読むのが好きだからなんとなくで点数が取れてたんですけど、高校に入ってから国語の点数が下がってきて、勉強方法が分からなかったんで苦しみました。そこで先生に相談に行って、自分なりの方法とかと一緒に考えてもらいました。

工学部に進学したのはなぜ？

ゆうい 家族が入院したことがあって、薬の副作用で苦しんでいる家族の姿を見た時に、薬がどう体内で効くのか分からないとダメなのかなって思って。高1の時に東京見学で東大に行ったんですけど、そこで今いる研究室の教授の話をもたまたま聞いて、化学的に薬のことも研究しつつ、生体

東大工学系研究科・工学部の在生を集めて日頃中高生からよく聞かれる質問にぶっちゃけなトーンで答えてもらいました。

内で薬がどう働くのかも調べる、それが両方学べる化学生命工学科っていうのがあるんだっていうのを知りました。その学科がたまたま工学部だった、みたいな。

まゆこ 元々農学部に興味があったんですけど、生命現象を数式で理解する話を前期課程の教養の講義で聞いて、物理や数学もできそうなところを選びたいと思いました。そこで化学生命工学科のことを知って工学部を選びました。

りさ 高校の時は学部の詳細をあまり知らなかったから、「生物好きじゃないし農学も興味ないから工学部かな〜？」と思ってました。新しいものを想像したり作ったりすることが好きだったので、大学に入って各学部のことが分かるようになって工学部を選びました。

えりこ 材料の勉強をしたくて東大に入ってたんですけど、大学に入ってから工学部の人がたくさんいるロボコンに参加する中で「工学部の人たちってめちゃめっちゃ面白いな〜」と思ったので、工学部にしました。

はるか 私は人の役に立つことがしたいと思っていましたので、工学部かなと思っていました。オープンキャンパスで一目惚れした講義をやっていた先生が工学部のシステム創成学科の人だったので余計に。でも、東大に入った後に受けた化学システム工学科のオムニバス授業にまた一目惚れして、それで決めました。

えりこ 入ってみるまで工学部って何やってるか全然分からないよね。

ゆうい 広すぎるからね。

えりこ それで、前期課程のオムニバス授業で「こういうことやってるんだ〜」って分かって、それで選ぶ人が多分多いんじゃないかな。

工学部の推しポイントは？

ゆうい いろんな面白い授業が多いところ！

はるか 工学部に入った後も、違う学部や工学部の別の学科の授業を受けたりできるので、いろんな面白い授業を取りやすい環境があるのかなって思います。

りさ 授業もそうだけど、工学の分野って広いから

教授もいっぱいいて、何かに興味を持った時に工学部にそれを専門にしている先生がどこか大抵いる。興味を持った時にチャンスがあるのはいいなあって思います。

えりこ ロボコンをやったから工学部の加工機械を使わせてもらえたことが多くて、そういういろんな施設を使えるっていうのはあると思う。あと、幅広い興味を持った人が工学部に入ってくるから、工学部のつながりで知り合いになっているんな分野の人と話せるっていう感覚があります。

工学部は女子が少ないけど、不満はある？

えりこ ざっくりと言えませんが。

りさ 自分が女子だから不利に感じるとかはないです。学科の人とも男女問わず仲良く話してます。でも、教室を見渡したら男しかいないっていう環境は一刻も早く抜け出したいかも。

はるか 女子の数が少ないのもあって、建物によっては1つ1つの階にある女子トイレの数が少ないっていうのはちょっとありました。若干不便だなあって。でも、女子だからどうこうっていうのはなかったです。

えりこ 入った時はびっくりしたけど、2年くらいしたら慣れてきました。前期教養学部の時から少ないから、工学部に来る頃にはもう慣れた状態で入ってくる感じ。

はるか 女子が少ない分女子同士の協力関係があったと思います。仲良くなりやすいと思う。

東大女子モテないって本当？

一同 失礼〜！



ゆうい それ、他大の初対面の子に聞かれたことがある (笑)。

匿名希望 ぶっちゃけ私、今付き合ってる人います！

一同 (歓声&爆笑)

えりこ 結構みんないるんじゃない？



まゆこ パートナーがいる人は結構いるし、サークルや研究室でも結婚して幸せそうにしている女性の先輩はたくさんいます。

ゆうい 合コンで他大の子よりモテるかはわからないけど、東大の男子って知的な女性が好きな人が多い気がする！

りさ 東大内で出会いはあるよね。

はるか 研究室にいると一緒にいる時間が長くなるので、その中でお相手が見つかるパターンが多くなりやすいのかなと思います。それで学内恋愛率が高くなるのかもしれないです。

ゆうい 東大でも出会いはあります。でも東大生同士で恋愛することが多いから、外からは見えないういのかも。

今後の進路や将来の夢は？

りさ 大学院でものづくりやアートっぽい研究をする予定です。こういうのがあったらいいな、ということを考えるのが好きだから、将来的には自分の作ったものを世に出したいなと思っています。

まゆこ 製薬メーカーの研究職に就職する予定です。私が携わった製品が患者さんのためになるといいなと思っています。

ゆうい 元々研究者を目指していたんですけど、向いてないなと思ったので、研究を社会実装する人をサポートする人材になりたいです。修士を卒業したら一旦コンサルに行ってビジネスを学び、やがてはバイオ系で起業する人の支援をしたいと思っています。

えりこ 博士課程に進学する予定です。この後のことはあまり考えていなくて、楽しいことを続けられたらいいなと。

はるか 私も博士進学を目指しています。その後の進路はまだイメージが持っていないのですが、今やっている研究の社会実装に少しでも携わりたいと考えています。



今回リアルトークに参加してくれた在生



りさ
電気電子工学科卒業
学際情報学府 修士1年



えりこ
マテリアル工学専攻
修士2年



まゆこ
バイオエンジニアリング専攻
修士2年



はるか
化学システム工学専攻
修士1年



ゆうい
化学生命工学専攻
修士2年



東大工学部を もっと知りたい!

info

東大工学部・工学系研究科に関連するイベント情報やメディアについて、オンラインで公開されているものを集めました。QRコードから気になったコンテンツにアクセスしてみてください!

待ってるよ〜!



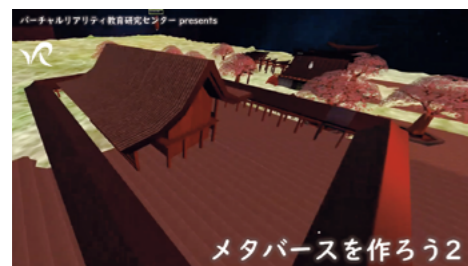
2023年
8月2,3日
Online

実際に参加してもっと知りたい!



高校生のためのオープンキャンパス

東京大学で行われている研究や教育について、高校生などこれから大学への進学を考えている方々に知ってもらうためのイベントです。工学部からも高校生に向けた企画を多数開催予定です。2023年度は8月2日(水)と3日(木)にオンラインで開催します。



メタバース工学部 ジュニア講座

工学の魅力や中高生に知ってもらうために、東京大学メタバース工学部が無料で開講している講座です。地球温暖化やデザイン、起業、3Dプリントなど、工学についてのさまざまな講座が今まで開講されてきました。今後もいろいろな工学にまつわる講座が開講される予定です。



過去のイベントをもっと知りたい!

工学部のリアル

工学研究の「リアル」とその魅力を学生の皆さんに知ってもらうため、東京大学工学部・工学系研究科の学生や卒業生、および先生たちが講演を行ったイベントです。過去に2回開催されており、工学部・大学院工学系研究科 YouTube チャンネルにダイジェスト動画が公開されています。



サマースクール

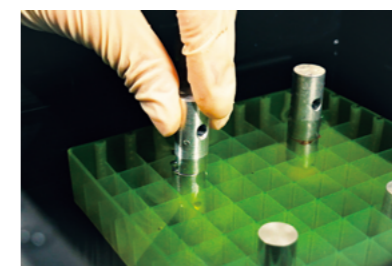
主に学生の方を対象とした東大工学部によるサマースクール「宇宙を拓く」が2022年8月に開催され、宇宙に関する様々な研究を行っている先生たちによる講演や研究室見学が行われました。工学部・大学院工学系研究科 YouTube チャンネルで講演や見学の様子を見ることができます。



イベントでは
同年代の中高生からも
刺激を受けられるし、
直接学生の話や
質問したりできるよ!



オンラインで
もっと知りたい!



東大工学部 YouTube

東京大学工学部・大学院工学系研究科の公式 YouTube チャンネルです。このページで紹介した動画コンテンツの他にも、工学研究の紹介や講演の様子などを動画で楽しむことができます。



東大工学部 学科紹介動画

工学部の16学科それぞれについて、各学科長や主任の先生方が紹介を行った動画です。各学科の特徴や魅力を知ることができます。



メタバース工学部

メタバース工学部は、すべての人が最新の情報や工学の実践的スキルを獲得して夢を実現できる社会の実現を目的として設立されました。中高生に工学の魅力を伝えるために、ジュニア工学教育プログラムや SNS による発信などの様々な活動を今後も行う予定です。



メタ SNS

東京大学メタバース工学部が運営している公式 Instagram アカウントです。



Ttime!

主に中高生や駒場の学生に向けて、工学部の様々な学科の研究や学生生活について紹介する広報誌です。東大工学部の学部生や院生によって一から制作し、年に2回発行しています。冊子のアーカイブや Web 記事をオンラインで閲覧できます。



Pick up! 工学部おすすめコンテンツ

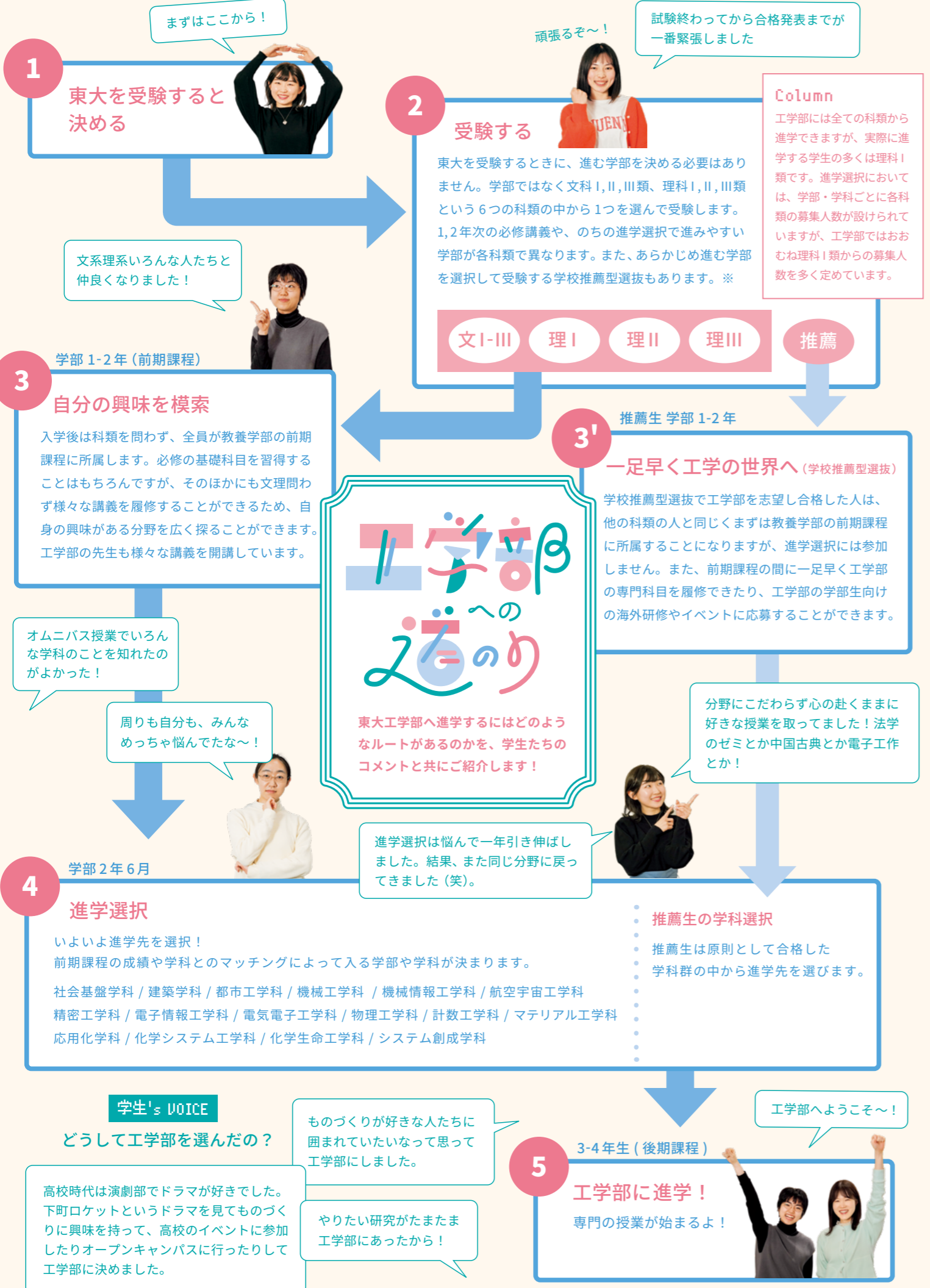


狂ATE (CREATE) the FUTURE

「狂おしいほどの衝動で未来を創る」

東大工学部の若き研究者たちにスポットを当て、研究への狂おしいほどの衝動と情熱、研究者の思い描く未来を伝える動画メディアです。東京大学工学部・大学院工学系研究科 YouTube チャンネル上で動画が公開されています。





※一般枠・推薦枠の他に、帰国子女枠、外国人枠もあります。詳しくは東京大学HPをご覧ください。

Q2 先生が研究科長として女子学生比率の改善に取り組んでいるのはなぜですか？

工学の幅広い研究分野に取り組むにあたって、女性を含む多様な視点は絶対に必要だと考えているからです。現在、東大工学部の女子学生比率は約12%ですが、私が研究科長を務める3年の間に少なくとも15%、できれば20%にまで引き上げたいですね。学生が均質すぎることが東大の一番の弱点だと思っているので、工学部を中心としてダイバーシティを徹底的に推し進めたいのです。

Q1 東大工学部の魅力はどこにありますか？

幅の広さ、どんなことでもできる、というところが東大工学部の魅力だと思います。例えば、手術をアシストする器具の設計を行っている先生や、日本文化を踏まえた建築のデザインを行っている先生がいたり、化学や物理工学の分野ではノーベル賞を取るかもしれないと言われている先生もいたりします。私のように海底資源の開発について研究している先生もいます。みなさんが「自分は何をやるのかな」と考えた時に、やれるターゲットになるものがいくらでもあるんです。しかも、「私はこういうことがやりたいです」と言えば、それに柔軟に対応できる先生がたくさんいます。この幅の広さが東大工学部の最大の魅力でしょう。

Q3 女子学生の比率を上げるために行っている具体的な取り組みはありますか？

工学部の各建物の中に女性のための休憩室を作る、ということに現在取り組んでいます。体調が悪いときや子供に授乳するときのためにそのような休憩室が欲しい、という声が女性の先生方や研究者の方などから私のもとに届いていて、そのような環境を整備をしていくことがまず重要なのではないかと思ったからです。環境整備という点では他にも、女性用トイレをこれまで以上に増やしていくといったことにも取り組んでいきたいと思っています。

INTERVIEW
大学院工学系研究科長・工学部長
加藤泰浩 先生

Q4 高校生のときにやっておくいいことはありますか？

「私はこれをやり切った」と言えるものを、ひとつ作ってほしいですね。何かを突き詰めて頑張る経験をしてきてほしいです。それはもちろん勉強でもいいし、音楽が好きなら音楽でも、スポーツが好きならスポーツでもいいんです。何でもいいので、自分の好きなことについて頑張る経験を積むことで、「頑張れる能力」を身につけてもらいたいですね。

その能力は将来必ず活きますと思います。中には「自分の好きなことが見つからない」と悩んでいる人もいるかもしれません。焦らなくても大丈夫です。自分がどういう人生を歩むのかを決めるのは先送りしても大丈夫なので、とにかく何かを頑張る能力というものを、どこかで身につけてきてほしいなと思いますね。

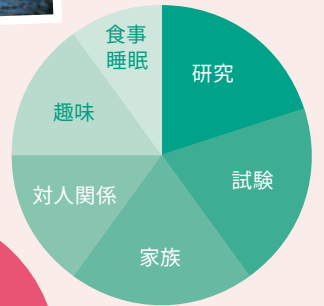


研究で使っているホヤ

作ったスコーンを
愛犬に狙われている、の図です

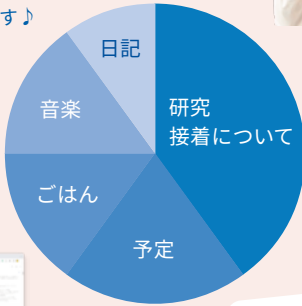


はるか
化学システム工学専攻
修士1年



音楽を聴くのが
毎日のルーティーン!

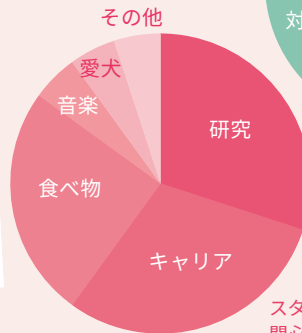
通学時間に聴く
音楽が癒しです!



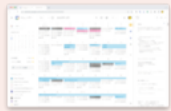
おもりを愛でてます



作るのも
食べるのも
大好きです!



スタートアップに
関心があります!



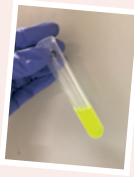
カレンダーぎっちり...



えりこ
マテリアル工学専攻
修士2年



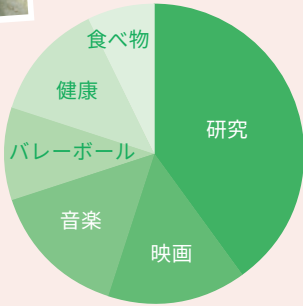
抗体の研究を
しています



おまけ企画 学生たちの アタマの中



バレーボールは
ゆるっと毎月
プレーしています!



KPOP 好きです!



まゆこ
バイオエンジニアリング専攻
修士2年

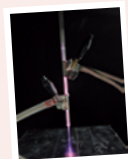
研究のポスター発表の
時の写真です!



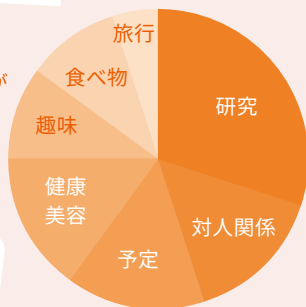
スイーツ大好きです!



りさ
電気電子工学科卒業
学際情報学府 修士1年



大好物はチョコとチーズ!
普段食べることしか
考えてないです!



クラシック
音楽を聴くのが
好きです



あやこ
電気電子工学科卒業
学際情報学府 修士2年



隙あらば踊ってます!



学部生の時は
プラズマを使った
研究をしました



推し活!



企画・編集・発行 東京大学工学部メタバース工学部、東京大学大学院工学系研究科・工学部男女共同参画委員会

制作協力 企画・編集・デザイン 株式会社本郷制作局

印刷 能登印刷株式会社 2023年6月26日発行

「Women in Engineering」に掲載されたすべての画像・文章の無断転用・転載を禁じます。